

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	エクセルⅢ					科目コード	T1580E2	
配当期	後期	授業実施形態	通常					単位数	1 単位	
担当教員名	池田 大輔	履修グループ	2I(BI/BO)					授業方法	演習	
実務経験の内容	資格スクールにおいて、MS-Office (Word・Excel・PowerPoint・Access) を利用した顧客名簿の管理業務全般、及び教材の編集業務に携わった。その経験を活かし、ビジネスシーンに必要な MS-Office 活用のスキルを実践的に講義する。									
学習一般目標	1 年前後期、2 年生前期に学習した「EXCEL I II」をベースに、グラフ、関数、ピボットテーブルを用いて、応用的な機能と操作方法を学ぶ。 ビジネスの現場で起こる問題の原因究明、解決のための対応策の策定、マーケティング、在庫管理、価格決定など、ビジネスシーンで必要となるデータ分析の基礎、統計学を Excel で学習する。 MOS 試験(一般、応用)合格を目指す。									
授業の概要および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を活用した実習 ・問題集を活用した練習 									
教科書および参考書	Excelで学ぶ統計解析本格入門、練習プリント 等									
履修に必要な予備知識や技能	Microsoft Excel2016(基礎・応用)									
使用機器	PC実習室									
使用ソフト	Excel									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	各専門職業分野において必要な実践的な専門的知識・技術を修得し、ものづくりやシステムづくりに活用できる。(知識・理解)								
	3	豊かな人間性・創造性を持ち、社会人として、技術を社会に役立てることができる。(態度)								
	5	社会人として、専門的知識・技術を修得するために、自ら継続的に学習し、キャリアを形成できる。(関心・意欲)								
	1									
	1									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現			20					20
		5.関心・意欲							40	40
総合評価割合			60				40	100		
評価の要点										

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	筆記試験は実施しません
小テスト	
レポート	課題作成、課題提出
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業態度、出席

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	CHAPTER01 統計学でデータの目利きを養う 01 なぜ、今、統計学を学ぶ必要があるのか 02 そもそも「データ」とは何か 03 本書の構成 CHAPTER02 データの全体像をつかむ 01 データを区分けする 02 抜群のバランス感覚を誇る平均値を求める	講義・パソコンを用いた 実習	
第2回	03 しっかりこない平均値の正体 04 データの真ん中を知る 05 データの多数派を知る	講義・パソコンを用いた 実習	
第3回	06 データの全体像をフリーハンドで描く 07 データの散らばり具合を知る 08 ものさしの違うデータ同士を比べる	講義・パソコンを用いた 実習	
第4回	CHAPTER03 データ同士の関係をつかむ 01 2種類のデータの意外な関係 02 手持ちのデータを使って予測値を求める	講義・パソコンを用いた 実習	
第5回	03 売上に影響を与えている要因を探る 04 来店者の特徴を知る	講義・パソコンを用いた 実習	
第6回	05 総合評価のないアンケートのゆくえ 06 データに白黒をつける	講義・パソコンを用いた 実習	
第7回	CHAPTER04 全数データと一部データの関係をつかむ 01 少ないデータから本物の平均を知る 02 少ないデータから本物のばらつきを知る	講義・パソコンを用いた 実習	
第8回	03 ピックアップしたデータの全体像を知る 04 もう一つの散らばりを知る	講義・パソコンを用いた 実習	
第9回	CHAPTER05 データの形を知る 01 やってみるまでわからない 02 山の形をしたデータ分布 03 標準の山 04 親戚の山々	講義・パソコンを用いた 実習	
第10回	CHAPTER06 少ない情報で全体を推定する 01 高い信頼度で平均値を言い当てる 02 データが少ししかなくても平均値を言い当てる	講義・パソコンを用いた 実習	

第11回	03 点数のばらつきを推定する 04 新製品の購入比率を推定する	講義・パソコンを用いた 実習	
第12回	CHAPTER07 偶然と必然の分かれ道01 本音は別にある 02 リニューアルで売上は伸びたのか 03 内容量のばらつきに差はあるのか	講義・パソコンを用いた 実習	
第13回	04 平均に差はあるのか 05 シェアは伸びたのか 06 給料は上がったのか	講義・パソコンを用いた 実習	
第14回		講義・パソコンを用いた 実習	
第15回		講義・パソコンを用いた 実習	